

みんなの居場所

頭の体操コーナー
裏に頭の体操クイズを載せています。
小学校で学習することをベースに作って
います。出来る出来ない関係なく、ご家
族でチャレンジしてみてください。会話
が広がります。

令和7年4月8日(火)

「お詫び」
校長の澤田 敦（さわだあつし）でございます。じつはもう少し遅いですが、4月1日本校へ着任し、早速お詫び申します。保護者の皆様へお声掛け頂いた嬉しく思っております。
さて、私も保護者の一人として皆様といっしょに色々な事に向かっていく覚悟です。また、学校では「校長先生って何やんや」とか「校長先生はいつも何をしようかな?」といふ会話を耳にすることがあります。それと並んで「お便りでは私自身のことを綴つていきたい」と考でています。また、これから社会が変化していくに伴い、新しい情報の提供や皆さまで考えて頂きたいことについても、発信していくことができるは限りなと考でています。どうぞ、お詫びをお願い致します。

「みんなの居場所」について
トルば、府本小学校が子供たちにとって、保護者の皆様にとって、我々教師にとって地域の方々にとっての安心である「居場所」となることを願って付きました。それぞれが互いのことを想い、居場所つくりのために何が出来るかを、主張的にして協力しながら考でいくことが大切だと思います。私も微力ながら頑張って参ります。感想をお聞かせいただければ幸いです。(下欄)

「お詫び」

新年度が始まり、少々生疏気がとも思いましたが、私自身の戒めのために、あの社会活動家の言葉を紹介します。

「おかげさまで」

夏が来ると冬がいいという

冬になると夏がいいという

太ると痩せたいという 瘦せると太りたいという
忙しいと閑になりたいという 閑になると忙しい方がいいという

自分に都合のいい人は善い人だと譽め
自分に都合が悪くなると悪い人だと貶す
借りた傘も雨があがれば邪魔になる
金をもてば古びた女房が邪魔になる

世帯を持てば親さえも邪魔になる
衣食住は昔に比べりや天国だが 上を見て不平不満に明け暮れ
隣を見ても愚痴ばかり どうして自分を見つめないか
静かに考えてみると何なのか

親のお陰 世間様のお陰の塊が自分ではないのか
つまらぬ 自我妄執を捨てて 得手勝手を慎んだら
世の中きっと明るくなるだろう

おれがおれがを捨てて わかさままでおかげさまでと暮らしたい
先に述べました通り、自戒の意味で毎年の始めにこの言葉を嘴み縋めています。
自分で降りかかるすべてのことは、自分を成長させてくれる大切なことばかりです。
それに対して不平不満ばかりでは成長は望めません。また、血の中心的な考え方も同様です。私は自分を振り返り、何かしら悪い点が多め、恥ずかしいばかりです。併せて、保護者として、自分の子供に対してする事が何よりも大切だと聞つてみました。「あまり過保護すぎますから」「担任の先生と連携してこな」「隣に住んでますから、歩くことが多いです。歩いて熊本市内に行つた後、立田山に徒歩で登つたりしてしまった。その他に悪つ出すことは、竹馬、「口銃」ぱつたり(鳥を捕まえたための仕掛け)など、アウトドアの遊び道具をよく作つてくれました。他には、釣り、川釣り、沢から捕り、筍掘り等々、ワイルドな言い方では、家族のお祝いやお祭りなどがひっしりついた時に、庭から鶏を捕まえてきて、美味しい焼くための作業を一緒にしたこともあります。こうした経験なども心に「楽しかったなあ、また明日遊ぼう!」とか「生き物の命を頂くんだ」って、素直に思いました。今の時代は万物の育つ難さを忘れてこなつた気がします。(つづ)

シリーズ「四角を語る」#①

管理職(した)の「澤田先生(さわだせん)」

つて質問をよく聞きます。私のことを知つて頂きたくシリーズ「四角を語る」無理矢張りス

ターニーです。」(筆談したわざ)。

早速第1回をお送りします。(0歳~5歳頃:正直なところあまり覚えていません。)

私は昭和41年に生まれました。私の母は死産と流産の経験があり、私の誕生は特例のことだったのです。父は益城町、母は西原村の出身で、どちらも寒家は農家でした(熊本地震の時は片付けが大変でした)。どちらも働き者で、私が小学校の頃は、当然のように鍵つ生活を送ることになりました。待望の子として、とても相当可愛がつてくれたのですが、愛情も強い反面、厳しくも甘えんじやなかったです。

父は自転車の運転をしません。自転車、バイクが主な移動手段でした。幼稚園に入る前から、父の自転車で遊びに連れて行つてからついました。私が幼少期を過ごした場所は、熊本市にある新地団地です。それが長屋だった頃、父は自転車でありながら連れて行つてくれました。また、歩歩も多かつたのですが、歩いて熊本市内に行つた後、立田山に徒歩で登つたりしてしまった。その他に悪つ出すことは、竹馬、「口銃」ぱつたり(鳥を捕まえたための仕掛け)など、アウトドアの遊び道具をよく作つてくれました。他には、